



## 特旨叙位～生前の功績をたたえて～

今年6月に亡くなられた元日高町議会議員の故 鹿島信一さん（享年86歳）が特旨叙位として「正六位」を授与されました。

大鷹町長がご遺族宅を訪問し、妻の道子さんに位記を伝達しました。

平成23年に旭日双光章を受章されている鹿島さんは、昭和59年に初当選以来、平成22年まで7期25年余にわたり町議会議員として在職され、この間、議長を務められたほか、産業・建設常任委員会委員長などの要職を歴任し、地方自治の進展と地域の発展に大きく貢献されました。



## 2023日胆畜産共進会が開催

### 黒毛和種の部と乳用牛の部最高位・準最高位受賞

7月28日に開催された2023日胆畜産共進会（黒毛和種の部）の「未經産の部」で賀張の伊藤俊介さんの「はな832」が見事最高位賞を受賞し、9月1日、2日に行われた全道大会では、14頭中4位という結果となりました。

また、8月10日に開催された2023日胆畜産共進会（乳用牛の部）の「未經産の部」で緑町の立石健晃さんの「グリーンシャープCラムダキツテイ」が見事最高位賞、「経産の部」で豊郷の(同)Dearest Farmさんの「ディアレスト D

S ダイヤモンド フローズン ET」が準最高位賞を受賞。

9月23日、24日に行われる全道大会に出場することが決まりました。

乳用牛の部の全道大会には立石健晃さん、(同)Dearest Farmさん他、庫富の日高キャトルセンター(株)さん、豊郷の(有)岡藤牧場さんの牛が出場することになっています。



はな832



グリーンシャープCラムダキツテイ



ディアレストDSダイヤモンドフローズンET



戦没者追悼之標に向かって追悼の言葉を述べる市原さん

## 戦没者の冥福を祈り、平和を願う

8月4日と8月18日、令和5年度日高町戦没者追悼式が、日高地区、門別地区の両地区で行われました。

18日に門別公民館で行われた門別地区戦没者追悼式では、遺族と来賓の方々が戦没者の冥福を祈り、黙祷を捧げ献花を行いました。

門別地区遺族代表の市原輝夫さんは、「戦争の史実と教訓を風化させることなく子々孫々にわたり正しく継承し、平和で希望に満ちた社会の増進に一層努力を重ねます」と追悼の言葉を述べました。



問 事務局 佐藤・真弓 (役場内)  
 ☎ 080-1899-8976  
 ✉ fighters.hidaka2021@gmail.com



メール

## ファイターズ観戦バスツアー

8月6日、北海道日本ハムファイターズ日高町後援会(湯村和彦会長)の「エスコンフィールド観戦バスツアー」が開催され、35名が参加しました。

下位ながらも若手選手が奮闘しているファイターズ。試合は残念ながら敗れてしまいましたが、参加された皆さんはプロのプレーに立ち上がって応援するほど盛り上がっていました。

後援会では、今後もファイターズの応援を通じて、まちを盛り上げるため、観戦会などの事業を計画しているほか、一緒に応援して下さる会員を募集しています。

## 馳星周氏講演会が開催されました

8月11日、富川小学校・中学校の卒業生で直木賞作家の馳星周氏をお迎えし、日高町立門別図書館郷土資料館開館30周年記念講演会「馬を嫌って日高を出、馬に呼ばれて日高に戻る」が開催されました。幼少期からの日高との関わりや、数年前から日高で夏を過ごすようになったきっかけ、直木賞受賞後第一作『黄金旅程』をはじめとして馬への愛をユーモアたっぷりにご講演いただき、「こんなに日高が好きになるとは思わなかった」と語っていました。



質問コーナーが設けられました



日高高校生らと共演する様子

## 日高地区芸術鑑賞事業、和太鼓演舞

8月19日、サンポッケ大会議室にて、「和太鼓 熊谷傳治郎 沙流舞台」が開催されました。

演者の熊谷傳治郎(本名 小玉尚弘)さんは日高地区出身、横浜市在住の太鼓奏者で4年ぶりの故郷公演となりました。90名の町民等が繊細で勇壮なバチ捌きや田楽の舞、唄、さらに日高高校生らの日高山岳太鼓との共演に魅了されていました。第2回日高地区芸術鑑賞事業は11月7日に札幌の腹話術愛好会「福笑会」の公演が予定されています。

## 全国中学校バドミントン大会で優勝、準優勝 日高町出身 溝尾花奈さん、竹村怜斗さん

8月20日から23日に高知県で開催された第53回全国中学校バドミントン大会に日高町出身の溝尾花奈さん(福島県立ふたば未来学園中学校3年)と竹村怜斗さん(砂川市立砂川中学校3年)が出場し

女子ダブルスで溝尾さんが優勝、男子ダブルスで竹村さんが準優勝しました。

また、女子団体戦でふたば未来学園中学校が優勝しており、溝尾さんはその結果に大きく貢献しております。

両名共に今後の更なる飛躍が期待されます。

(写真: 溝尾さん、竹村さん共に右側)

